

政務活動費収支報告書

令和6年4月26日

八尾市議会議長

田中 慎二 様

議員名又は会派名とその代表者名

日本共産党 越智 妙子

条例第13条第1項の規定により、令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入

(単位: 円)

項 目	金 額
政務活動費	2,310,000 /

2 支 出

(単位: 円)

項 目		金 額
支 出	調査研究・研修費	0
	資料作成費	0
	資料購入費	37,050 /
	広報費	1,497,650 /
	広聴費	15,520 /
	日常活動費	0
	人件費	129,800 /
	事務所費	0
	事務費	629,980 /
	合 計	2,310,000 /

3 収入支出差引残額(返還額)

0 / 円

注) 支出が収入を上まわる場合は、残額欄には0円と記載のこと。

様式第 15 号(第 9 条関係)

・ 政務活動費における活動報告書

令和 5 年度の政務活動の内容は、収支報告書のとおりであります。そのうち、
主要な政務活動の概要については、別紙のとおりでありますので、条例第 14 条第
1 項及び条例施行規程第 9 条第 1 項の規定に基づき、簡潔に報告いたします。

日本共産党 越智妙子



[テーマ・目的]

令和 5 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大がやや下火になったものの、物価高騰の嵐が市民生活を襲い、生活困窮世帯がさらに増え続けた 1 年間でした。中でも中小零細企業が多い八尾市では倒産・廃業が相次ぎ、そこで働いていた労働者が職を失うなど、新たな貧困の連鎖が続いています。こんな中、年金・国保・介護・医療などの社会保障制度が改悪され、ますます生活困窮が深刻化しています。

こんな時だからこそ、市民生活を支える施策が求められていました。日本共産党は、一斉地方選挙を通して、市民要望を聞き、それをもとに政策を練り上げ、積極的な政策を訴えてきました。中でも、全員で食べる中学校給食実現に続き、小・中学校給食の無償化については大きな期待が寄せられ、市政を前に動かすことができました。また、高齢者への補聴器購入助成制度も、不十分ながら、ようやく実現の運びとなりました。

今後とも、市民が主人公の八尾市をめざし、政務活動費を活用して議員団ニュースを発行したり、市政報告会・懇談会を開いて市民の声と願いを市政に反映するため、奮闘する決意です。

[活動概要]

1. 日本共産党市会議員団ニュースを、年間 12 回(NO.315 から NO.326)発行し、新聞折り込みや駅頭、全戸配布を通して、定期的に市政報告を行ってきました。(カラーニュース参照)
2. 定例市議会の前には、議会日程をお知らせするビラを、議会終了後には報告会を持つなど、市民と双方向で意見交流する会合を年数回、開いてきました。そのためのお知らせビラも作成、配布してきました。
3. 特別支援教育など、市民的な課題についての学習会も年数回開催し、保護者や関係者からの実態報告や意見交流なども行い、その内容を議会に反映させる活動も行ってきました。

[成果・課題]

日本共産党は、これらの活動を通して、市民との双方向の意見交流を行い、それを元に予算要望書や緊急要望書を作成し、市民の声で市政を動かす活動を行ってきました。その中で、小・中学校給食費の無償化や加齢性難聴者への補聴器購入助成制度の創設など、市政を前に進めることができました。今後とも、市民とともに住みよい八尾市政をつくるため、積極的提案を行いながら、その実現に全力を上げる決意です。